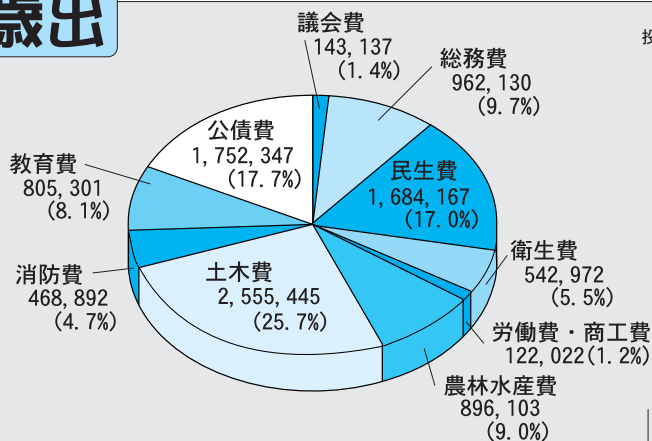


算

平成15年度1年間の一般会計・特別会計の決算がまとまりました。長期に渡る景気低迷の影響や地方交付税の大幅な減少で町の財政状況は深刻で、町有牧野の廃止や議会議員定数の削減、町内の一部プール休止など、大幅な事業の見直しを行い収入に見合った支出を行ってきました。

決算額を中心に概略をお知らせします。

歳出

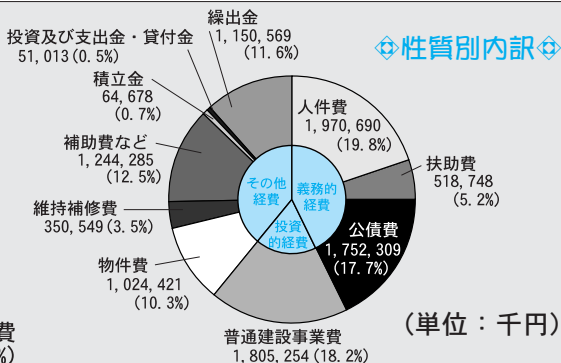


議会費 議員の報酬や議会運営費、議会広報誌の作成、研修旅費など町議会を運営するために使われた費用。

総務費 美しいまちづくりの推進や電子計算機器の借上、バス運行に対する助成など、町の総合的な計画の策定や推進、内部管理などあらゆるものに使われた費用。

民生費 障がい者や高齢者に対する医療費の助成など福祉環境の充実、保育所の運営や児童手当の支給など子育て環境の充実などに使われた費用。

衛生費 ゴミ処理やリサイクルの推進、また予防接種や検診事業など健康で衛生的な生活環境を充実させるために使われた費用。



農林水産費 農生産と質の向上を目指した土地基盤整備、森林の環境保全など農林業の振興に使われた費用。

商工費・労働費 商工費は商工会に対する補助や商店街活性化・振興のために使われた費用。労働費は失業者の対策支援などに使われた費用。

土木費 町道・公園の整備や維持管理、町道の除排雪など社会資本整備のために使われた費用。

消防費 町民生活の安全を守る消防活動に使われた費用。

教育費 各小中学校の整備、教材の購入など学校教育や社会教育事業と施設の管理、芸術・文化・スポーツの振興など生涯学習の充実に使われた費用。

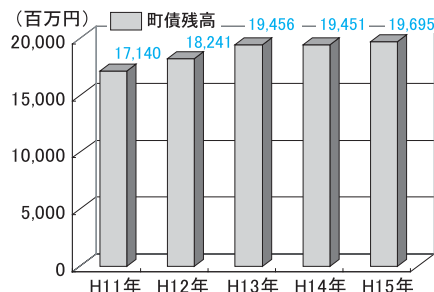
公債費 町債の元金の支払いと一時借入金利子の支払いに使われた費用。

町債・基金の状況

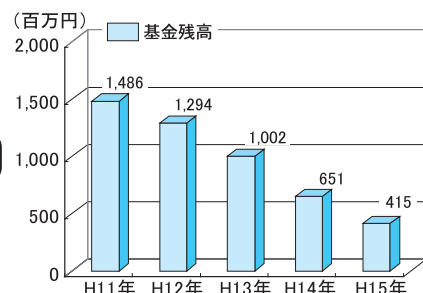
町債は「町の借金」、基金は「町の貯金」に当たります。

町債の残高は、従来から実施してきた道路・農業・都市の基盤整備事業や「ゆとろ」などの大型建設事業を行ったことで大きく増えましたが、現在、公債費負担適正化計画の実施により、平成15年度をピークに減少を見込んでいます。

基金の残高は、平成11年度を境に著しく減少しています。長期に渡る景気低迷の影響による町税や地方交付税の大幅な減少が原因で町が自由に使える一般財源に大きな不足が出て、補てんをするために取り崩しが必要となりました。



町債残高の推移 (各年度末)



基金残高の推移 (各年度末)



平成15年度

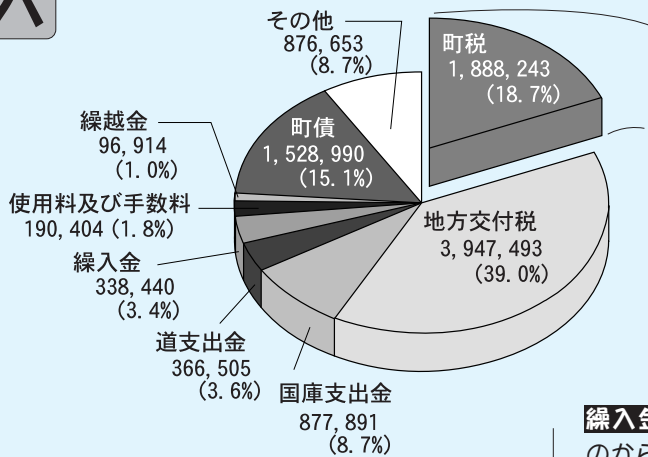
一般会計・特別会計決算

一般会計決算

(全国の統計ベースとなる「普通会計」の数値を使用)

歳入 101億1,153万3千円 差引き 1億7,901万7千円
 歳出 99億3,251万6千円

歳入



町税の内訳

町民税	630,132
固定資産税	1,032,669
軽自動車税	23,308
市町村たばこ税	139,571
入湯税	1,614
都市計画税	60,949

(単位：千円)

地方交付税 町が自由に使えるお金で国税(所得税・法人税・酒税・消費税・たばこ税)から一定の基準で交付されたもの。

国庫支出金 町が行う特定の事務事業経費などに必要なお金の一部または全部が国から交付されたもの。

道支出金 国庫支出金と同じ性質のもので北海道から交付されたもの。

繰入金 特別会計や基金など一般会計以外のものから繰り入れたもの。

使用料及び手数料 町の施設使用料や住民票の交付などの各種証明書の発行手数料など、利用者負担によって得た収入。

繰越金 14年度の決算後に残った金額を15年度において受け入れたもの。

町債 道路や公園の建設など多額の経費がかかる特定事業の支出に充てるために借入れた長期の借金。

特別会計・企業会計決算

(単位：万円)

その他の会計として国民健康保険など6つの特別会計と水道事業会計があります。利用者が支払う税金、使用料、保険料や一般会計から繰入などの収入で運営している特定の目的のための会計です。

	項目	収入	支出	差引	備考
特別会計	国民健康保険	16億8,107	16億9,485	1,378	16年度予算で補てん
	老人保健	23億7,470	23億4,976	2,494	
	介護保険	9億2,506	9億2,246	260	
	介護サービス	3,776	3,757	19	
	農業集落排水	8,720	8,421	299	
	下水道	11億3,003	11億2,549	454	
水道事業会計	水道事業				収支不足額は留保資金で補てん
	①収益的収支	4億4,938	4億3,821	1,117	
	②資本的収支	1億2,595	2億8,949	1億6,354	